

若草の会 訪問

9月1日に 船橋市中央公民館を拠点として活動する「青年教室 若草の会」の見学に伺いました。若草の会は特別支援を必要とする方たちが学校教育を卒業後、社会的自立を目指して学習や体験、仲間づくりをする場を提供しています。

開始時間前にはすでに100名もの会員の皆さんが集まっていて、この日の講座をとっても楽しみにしていた事がわかります。この日は趣味講座で、ダンス・卓球、空手、ビーズ作り、クッキング、ゲームに分かれて、参加者が希望するものを各自楽しんでいる様子が見られました。

今回のエコ福祉助成ですが、沢山の会員がいてこの助成金額で何ができたのか気になっていました。伺ったところ、毎年恒例の夏休みの1泊2日の旅行で引率のお手伝いをしてくれる先生達の交通費の補助として活用することができたのとことでした。旅行では親御さんは付き添わないため、活動をしているスタッフだけでは足りず様々なところへ声をかけて引率のお手伝いをお願いするそうです。引率の方達も参加者と同じ旅費を払います。今までは会のことをよく知っているが故に交通費を受け取ってくれなかった方が、助成ができたことで気持ちよく受け取ってくれたとのことでした。会費を値上げしたら良いのでは？という声もあるかもしれません。作業所などで働いている人もいますが、成人していても必ずしも全員が働くことができていないわけではないそうです。会員や家族は日々の生活も大変な中でこの若草の会を楽しみにされているので、会費はこれ以上あげられないとのことでした。会費は活動のお知らせの郵送料として使われています。

会が発足して40年近く経ち、なかには60才を超えた方もいます。またスタッフ達も年齢を重ね、若い担い手を探すことが課題だ、と仰っていました。

養護学校を卒業した後にこのような場で社会と関わることで、日常生活での集団行動がスムーズにできるようになったそうです。地域の中でどう生きて行くか各々が考え、皆で支え合っているということがわかりました。また、安心して集える場になっているということもわかりました。

福祉委員 理事 星野 維

